

＼はじめの一歩！／
ボランティア講座

雪かき道場® in 鬼無里 ～初級編～

平成 28 年
2月20日(土)
～21日(日)

- 開催日：2月20日(土)～21日(日)
- 主催：鬼無里地区住民自治協議会
共催：長野市社会福祉協議会 長野市ボランティアセンター・長野県社会福祉協議会・長野市役所鬼無里支所
- 講師：NPO 法人 中越防災フロンティア
- 参加者：27人
- 内容：講義および雪かき実技演習

初日はまず、講師の NPO 法人中越防災フロンティアの方から講義を聴きます。平成 18 年の大雪で全国 152 人が亡くなった例を挙げ、毎年の雪かきの事故は何気なく捉えられ、1つ1つが問題にはならないが、全体で見ると大きな課題ではないかとの話がありました。特に高齢者が単独で作業する際の事故が多いが、それだけ地域に若手が足りず、「雪」そのものが問題というより、雪国の「社会」に課題があると指摘されていました。

後半は、実際に雪かきを体験する実技演習。地域住民が「師範」となり、班ごとに別れた参加者に、スコップやスノーダンプの使い方を教えます。2日目は習ったことを活かし、高齢者が住む団地を訪れ、軒下や道路に積もった雪を片付けました。

参加者の多くは「雪かきをしたことがない」「雪がほとんど降らない」と話し、雪国らしい体験に価値を見出しています。この雪かき道場では、参加者がそうして“楽しく”雪かきを体験する中で、地域の実情を知り、雪かきボランティアとしての再訪ももちろんですが、雪以外のシーズンにも訪れ、関心をもってもらう意味があります。

ただ地域では、雪かきをしたいというボランティアがいても、「雪かきしたこともない人を連れてきても、役に立たない」といった心配や不安の声もあり、すぐに受け入れることは大変です。

この雪かき道場は、開催地域の側が“お試し”としてボランティアを受け入れることで、「雪に慣れない人でも、やればできる」と実感し、また地域住民同士が準備や運営に関わる中でつながりをつくり、ボランティアをどう受け入れるかを学ぶ側面もありました。



初日はまず講義からスタート



雪かき「師範」の地元の方が紹介されます



「健康雪かき体操」をしてウォームアップ！



会場の外に出て雪かき実技演習です



スコップの使い方、雪の飛ばし方を体験



お次はスノーダンプに挑戦してみます



段々慣れてスピードアップしてきました



実践として会場の軒下に積もった雪を片付け



2 日目は団地の通路を除雪します



見る見るうちに雪の山がなくなっていきます



スノーダンプで運んできた雪を、家の裏にある崖から下に投げていきます



こんなにキレイになりました！



屋根の除雪に役立つロープの結び方も習います



「初級」認定式。全員無事に合格！



日赤奉仕団の皆さんが、災害時の炊き出し訓練を兼ねて、お昼にカレーを振舞ってくれました